

事業所名 川崎市南部地域療育センター

支援プログラム (居宅訪問型支援事業)

作成日

6年

10月

1日

法人(事業所)理念		①充実した質の高いサービスの提供 ②地域に根ざした施設運営 ③人材の確保・定着・育成 ④法人の経営基盤の整備					
支援方針		①お子さんと保護者の方の支援を両輪と考えます。 ②個別的配慮のもと集団プログラムを中心に遊びを通し社会性やコミュニケーションの力を育てます。 ③お子さんの発達や特性を理解し、よりよい対応を保護者の方と共有しながら生活リズムや生活習慣を築き健康に過ごせるようお子さんの状況にあわせた基本的なスキルの獲得を目指します。 ④お子さんの持つ力を活かし様々な活動の中で経験を積み重ねる支援をします。 ⑤大人との信頼関係を軸にお子さん自身が表出や発信ができるよう支援します。					
営業時間		8時	30分から	17時	0分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の健康状況を把握するとともに、保護者と連携し、生活リズムを整えることや、疾患や症状に考慮しながら健康に過ごせるよう活動を計画します。 ・安心できる環境の中で家族以外の関わりを経験します。お子さんの状況に応じた遊びの提供を行い経験の広がりを目指します。 ・家族の方と情報共有をしながら実生活の中で様々な刺激を受ける関わりをもちます。 ・物を見ることから、物や状況に合わせた体や手指の使い方を活動のなかで取り入れ、生活に必要な基本的技能や姿勢、健康・体力の向上に繋がるようにします。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・動作の基本となる姿勢保持や運動・動作の改善および習得、筋力の維持向上を図ります。 ・視覚、聴覚、触覚など感覚を十分に活かせるよう必要に応じた工夫を遊びの中で支援します。 ・安楽の姿勢を確認しながら自分の体を動かす経験を取り入れ、意欲の向上をねらいます。 ・季節に合わせた物を介し、居宅において感じられる限りの経験を広げます。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・障害特性に応じた視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用し、必要な情報を収集しやすい配慮をします。 ・パーソナルスペースに介入することで、様々な気づきを得て誰かと何かをする喜びを体験します。 ・児童のペースでの表現を引き出しながら楽しい経験の中で「またやりたい!」という意欲や、自ら取り組み「できた!」「やった!」という成功体験が積めるよう支援します。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉にとらわれず児童ができる表現で人に伝えようとする意欲を大切にします。要求と共に拒否の気持ちも大切にします。 ・できる表現方法(発声、身振りなど)を大人が受け止め応答しやりとりの経験をします。 ・トーキングエイドなど発声、音声補助機器を活用しながら、コミュニケーション手段を広げ、生活の中で豊かな表現経験を積み重ねます。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる大人との関係性を作ることを基盤としそこから周りの状況にも気づき周囲の人や物への興味、関心、関わる支援をします。 ・一人で、相手と一緒に(大人、こども)、ことを活動の中で取り入れ社会性、対人関係の育ち、芽生えを支援します。 ・生活の背景を意識しながら、家庭の中での役割やつながりを強め、自己肯定感を育みます。 					
家族支援	保護者の困り事や悩み事の軽減 きょうだい児への社会資源の活用 訪問での活動を通じた助言、援助(子育てサポート) 通園クラスとの交流			移行支援		個別面談での進路相談 就学に関する情報提供	
地域支援・地域連携	SWと連携した短期入所や見守りサポートなど社会資源の活用 外出サポート			職員の質の向上		療育センター研修(必須研修、新人研修、AED ケース検討等) 四療育 研究発表会 通園研修 外部研修への参加等	
主な行事等	ファミリーコンサート						